

私の宝物



日本リユースシステム
山田正人社長

不思議な手作り仮面

引っ越しの際に出る不要な衣類を500円(ワゴンコイン)で引き取り、

ワクチンとともに発展途上国に送る「ワゴン・エコ」。日本リユースシステム(東京都港区)が展開するサービスは、社会貢献意欲を満たすものとして、ユーザー、提携引越事業者ともに拡大している。

そんな「真面目な」事業に取り組む山田正人社長だが、宝物として紹介してくれたのは何ともイ

ンパクトのある「仮面」。誰もが知るブランドのモノグラムがあしらわれ

たそれは、友人の手作りだ。「器用な奴で、ブランド物のパロディを個人的に作っては友人に見せていた。これも『変な物ができた』と送られてきたもの」。

その友人はずで故人となり、はからずも遺作に。ただ、「物に執着



被った状態で社内を歩くことも

しない」という同社長は、大切にしまい込むようなことはせず、なんと、社内でも被っている。「煮詰まった時だけで

なく、特に目的もなく被ってPCに向かったり、社内を歩いたり。浸透してしまい誰も驚かないらしい。入手から10年経つが、一部剥けている部分は苦楽をともにした跡と言えようか。

長い間、社長業を務め「これまで多くの苦労があった。3食満足に食べられて風雨をしのげれば、十分幸せだと感じる」とし、「目に見えるような、物的な欲求はない」と言い切る。同社長を駆り立てるのは、「物を手に入れるよりも大きな目標」。仮面は、目標を達成する道筋を静かに見守っていくことだろう。

(村上千秋)